

東京外国語大学から 留学しよう！

From TUFS to the world ～世界に広がる学びの場～

留学制度説明会

TUFS Open Campus 2024

本学の公式キャラクター
トビタくん





そもそも、なんで留学に行くの？

- 言語を通して、その国の社会、文化、制度、人々について理解する。
 - ⇒ **その言葉が話されている国に行ってみるのが一番の近道**
 - ⇒ **外大なら世界中に協定校があり、留学ができる！**



“現地のいろんなコミュニティに飛び込み、老若男女、貧富、各思想、民族といったさまざまな視点から中国の現状を見て、現地の人から話を聞ける機会は留学を除いてまずないでしょう。”

(中国・北京大学)

“世界中に一生の友達ができました。帰国後に、韓国やドイツから日本に遊びに来てくれました。”

(アメリカ・ネブラスカ大学カーニー校)

→ **様々な人との出会い**

“自分を敢えて他の社会の一員に置き換え、彼らと同じ立場からその社会を見た時、外から見た時よりも見えるものはずっと多く、その社会に対する考え方もより深くなります。これこそ、留学の醍醐味だと感じています。”

(カナダ・ブリティッシュコロンビア大学)

→ **現地社会・文化の理解**

“留学は未知のことばかりで、行く前には不安になるかもしれませんが、Comfort zone (慣れ親しんだ居心地の良い場所) から飛び出すのは勇気の要ることで、怖がらずに挑戦してみてください！新しい世界が待っています。そして留学で得た広い視野や語学力は、きっと人生の宝物になるはず。”

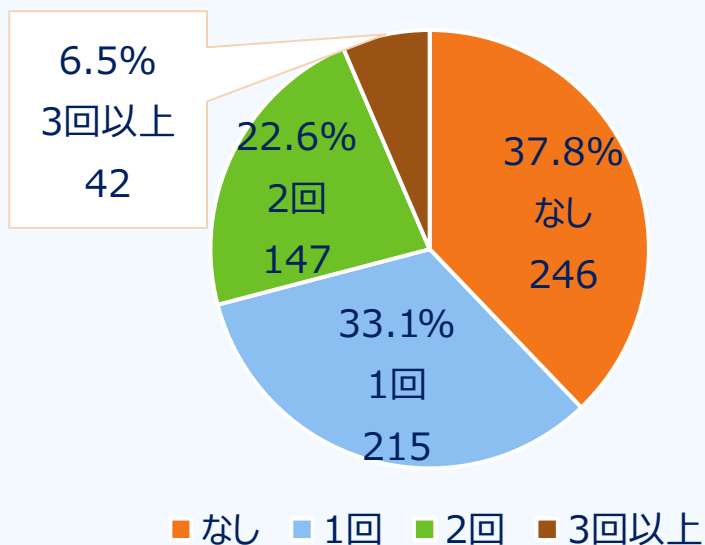
(イギリス・マンチェスター大学)

→ **新しい視野**



外大生はどのくらい留学に行くの？

2023年度の学部卒業生（650名）の留学回数



全体の**62.2%**（404名）が在学中に留学を経験！

→ 2回以上の留学をしたのは**29.1%**

→ 留学経験者404名のうち、長期留学（1学期間以上）をしたのは**66.6%**（269名）

入学して初めての留学は、短期留学！

→ 2023年度の短期留学（ショートビジットプログラム）参加者のうち、1年生は全体の**51.4%**（258名）
2年生は全体の**36.5%**（183名）

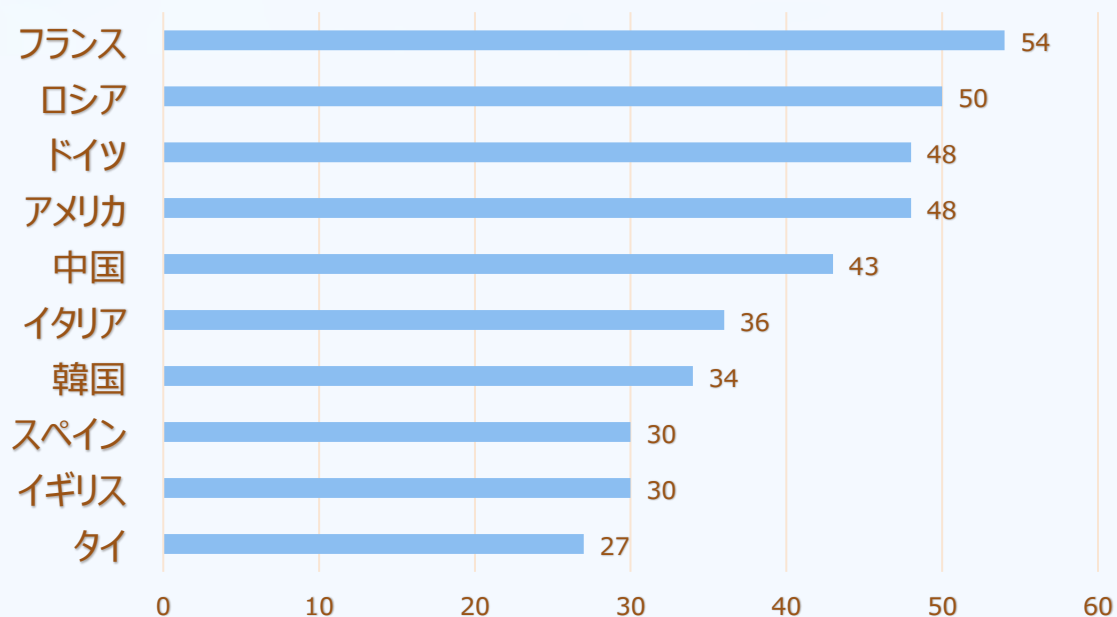
→ 1,2年生の参加者が全体の87.8%





どの国に留学しているの？【長期留学】

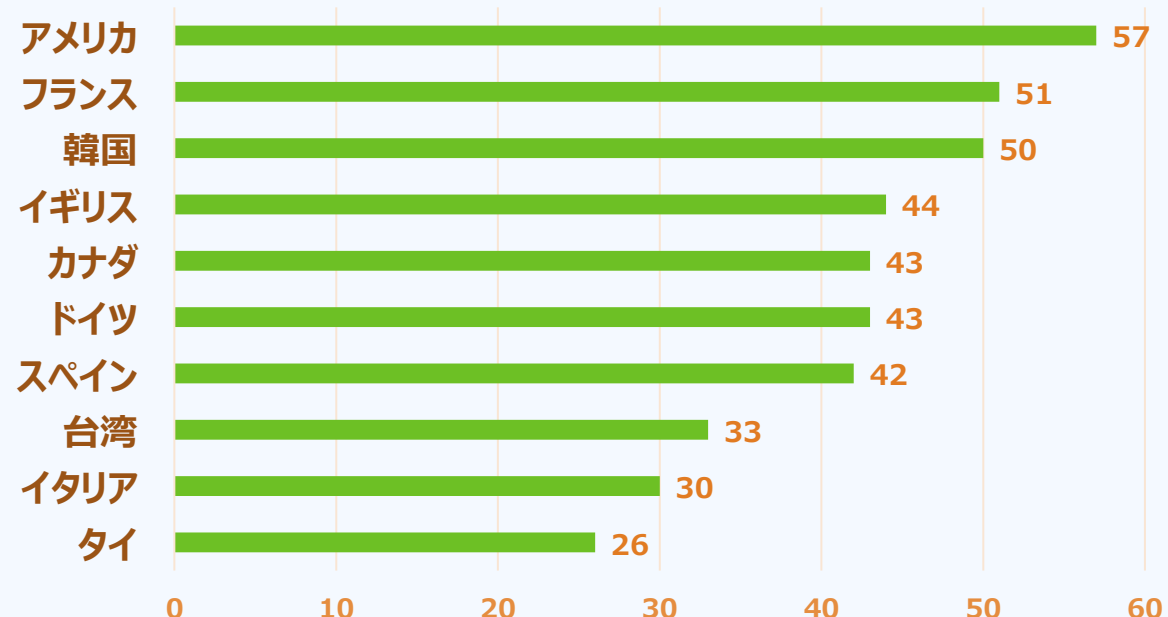
2019年度 長期留学先 TOP10



その他、中南米55名、中東31名、アフリカ38名など…

78カ国・地域へ留学
(2019年度実績)

2023年度 長期留学先 TOP10



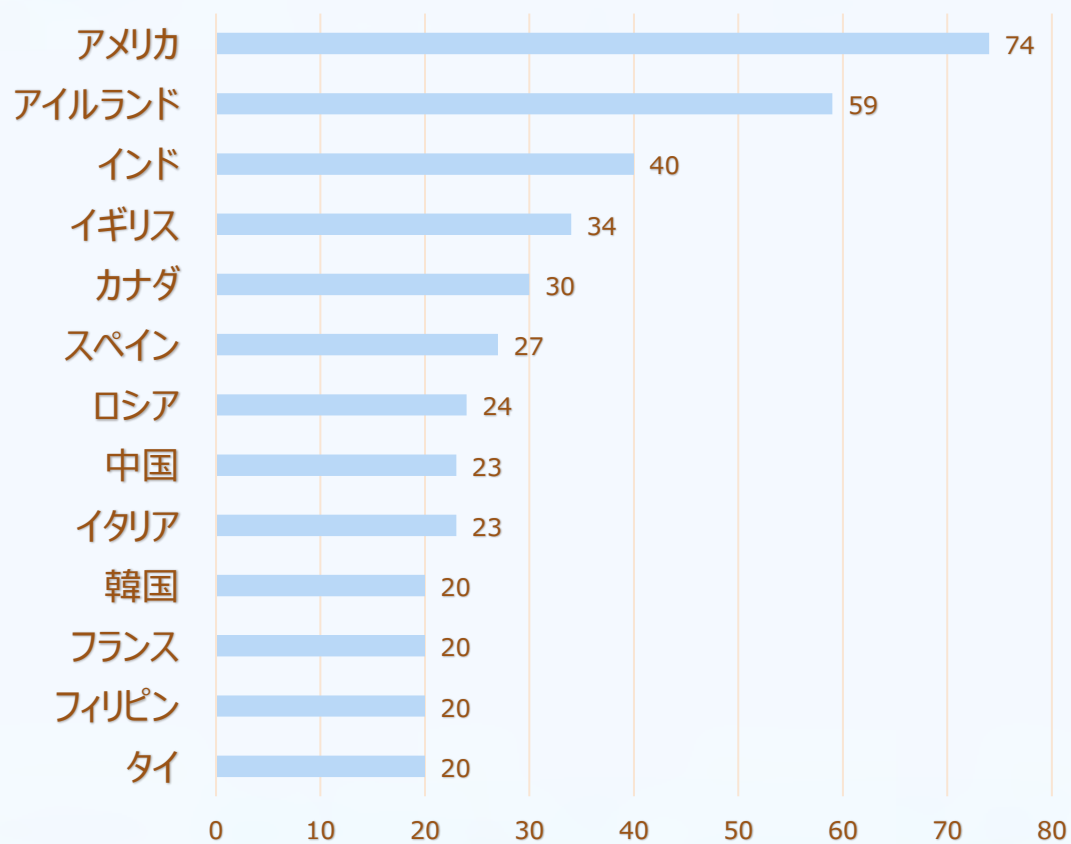
その他、中南米29名、中東30名、アフリカ33名など…

75カ国・地域へ留学
(2023年度実績)

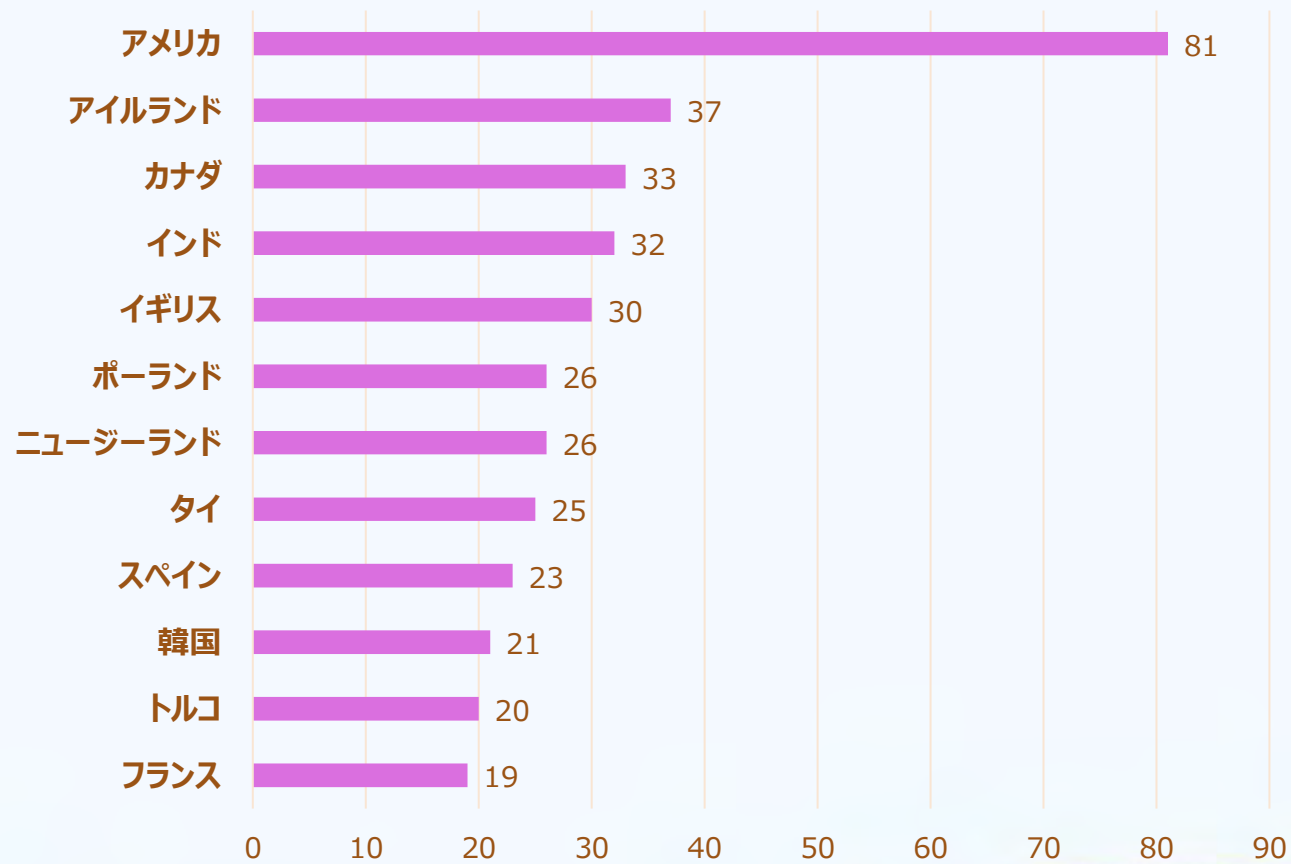


どの国に留学しているの？【短期留学】

2019年度 短期留学先 TOP10

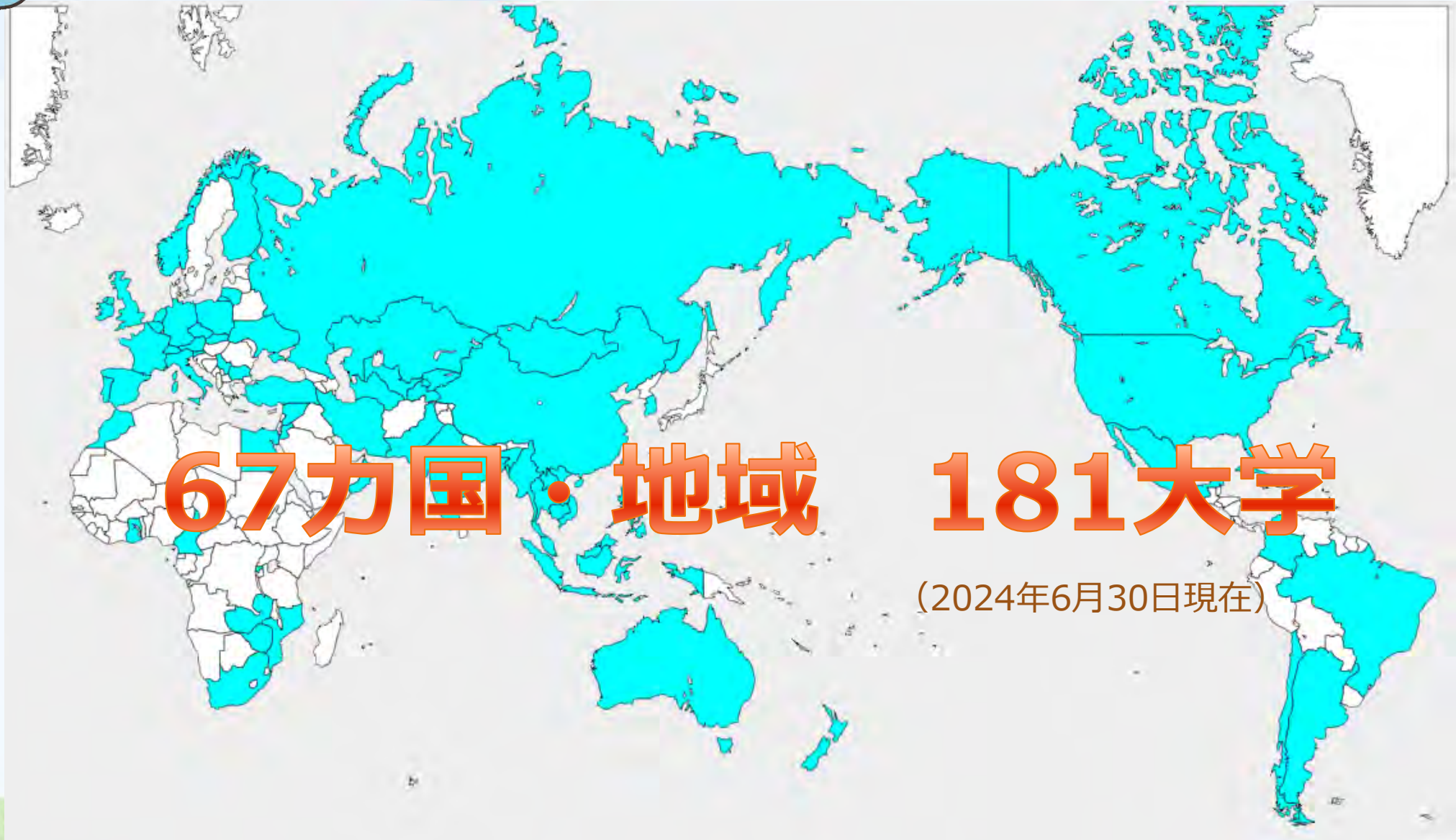


2023年度 短期留学先 TOP10





どの国に留学しているの？【学生交流協定校】





どんな留学形態があるの？

＜本学の制度＞

- ① 交換留学（派遣留学）
- ② ダブル・ディグリー・プログラム（学位取得）
- ③ 休学しての留学（休学留学・自由留学）
- ④ 短期留学（ショートビジットプログラム）
- ⑤ その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）

＜留学して何をするか＞

- 学部で学ぶ（現地の授業を現地の言葉で学ぶ）
- 語学を学ぶ
- 就労経験（インターンシップ）、実地研修（スタディツアー）





どんな留学形態があるの？

＜本学の制度＞

① **交換留学（派遣留学）**

② **ダブル・ディグリー・プログラム（学位取得）** 国際日本学部のみ

③ **休学しての留学（休学留学・自由留学）**

④ **短期留学（ショートビジットプログラム）**

⑤ **その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）**





① 交換留学（派遣留学）

- 本学の協定校へ、**学生交流協定**に基づいて留学するもの
- 期間は、**1学期間もしくは1年間（2学期間）**（4か月～10か月程度）
- 現地学生とともに現地の言葉で**専門的な内容を学ぶ**（学部留学）
（留学先大学によっては、留学生向けの語学コースを中心に学ぶこともある）
- 留学先で取得した単位は本学の卒業単位として認められるため、**4年で卒業することも可能**
- **本学の授業料を納入し、留学先の授業料は免除される**
- 留学開始時の学年は**学部2年生（春学期終了後）～大学院生** ※協定校により異なる
- 毎年10月に学内での募集、**人数枠に限りがあるため、選考あり**
（語学力、大学での成績（GPA）、書類・面接等による評価）
- 自分の専攻言語と異なる地域への留学も可能
- 英語圏の大学では、TOEFLまたはIELTSのスコアが必須





どんな留学形態があるの？

<本学の制度>

- ① 交換留学（派遣留学）
- ② **ダブル・ディグリー・プログラム（学位取得）** 国際日本学部のみ
- ③ 休学しての留学（休学留学・自由留学）
- ④ 短期留学（ショートビジットプログラム）
- ⑤ その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）





②ダブル・ディグリー・プログラム（学位取得）

国際日本学部のみ対象

- 本学とダブル・ディグリーの協定を締結している大学への留学
 - イギリス：セントラルランカシャー大学（UCLan：University of Central Lancashire）
 - オーストラリア：メルボルン大学（UoM：The University of Melbourne）
- 留学先で所定の単位を取得し、論文を提出すれば、学士号が取得できる
- 帰国後に、本学でも卒業論文を作成することで、本学、留学先大学両方の学位が取得できる。
- 留学先で履修する授業は、あらかじめ決められている中から選択。
- 授業料の支払い先は、プログラムによる。

<https://www.tufs.ac.jp/education/program/dual-degree-programs/sjs-ddp.html>



どんな留学形態があるの？

<本学の制度>

- ① 交換留学（派遣留学）
- ② ダブル・ディグリー・プログラム（学位取得） 国際日本学部のみ
- ③ **休学しての留学（休学留学・自由留学）**
- ④ 短期留学（ショートビジットプログラム）
- ⑤ その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）





③休学をしての留学（休学留学、自由留学）

- 本学を休学して留学するもの
- 事前に申請すれば**単位認定可能**、ただし審査あり
- 単位認定あり：「休学留学」（3年次以降）、単位認定なし：「自由留学」
- 自分で探してきた海外の大学・教育機関に留学する（**協定校でなくても可**）
- 学部留学、語学留学、いずれも可
- 期間は、**3か月以上、3年以内**（1回の休学申請は、1年まで）
- 本学の授業料は免除（在籍料等は必要なし）、**留学先の授業料を支払う**
- 休学をするため、**4年間での卒業は不可**。多くの場合、5年卒業。



どんな留学形態があるの？

<本学の制度>

- ① 交換留学（派遣留学）
- ② ダブル・ディグリー・プログラム（学位取得） 国際日本学部のみ
- ③ 休学しての留学（休学留学・自由留学）
- ④ **短期留学（ショートビジットプログラム）**
- ⑤ その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）





④短期留学（ショートビジットプログラム）

- 時期：夏学期もしくは冬学期
- 期間：3週間～5週間程度（留学先による）
- 留学先：本学の協定校
- 内容：言語を学ぶもの、専門分野を学ぶもの（英語にて）
- プログラム数：夏学期：71、冬学期：54（2023年度実績）
- 学べる言語の数：24言語（2023年度実績）
- 単位認定あり：2単位
- 一部の専攻言語では全員参加型のプログラム
- 参加費用（授業料、渡航費、滞在費など）：すべて自己負担





どんな留学形態があるの？

<本学の制度>

- ① 交換留学（派遣留学）
- ② ダブル・ディグリー・プログラム（学位取得） 国際日本学部のみ
- ③ 休学しての留学（休学留学・自由留学）
- ④ 短期留学（ショートビジットプログラム）
- ⑤ **その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）**





⑤その他の留学（スタディツアー、インターンシップ等）

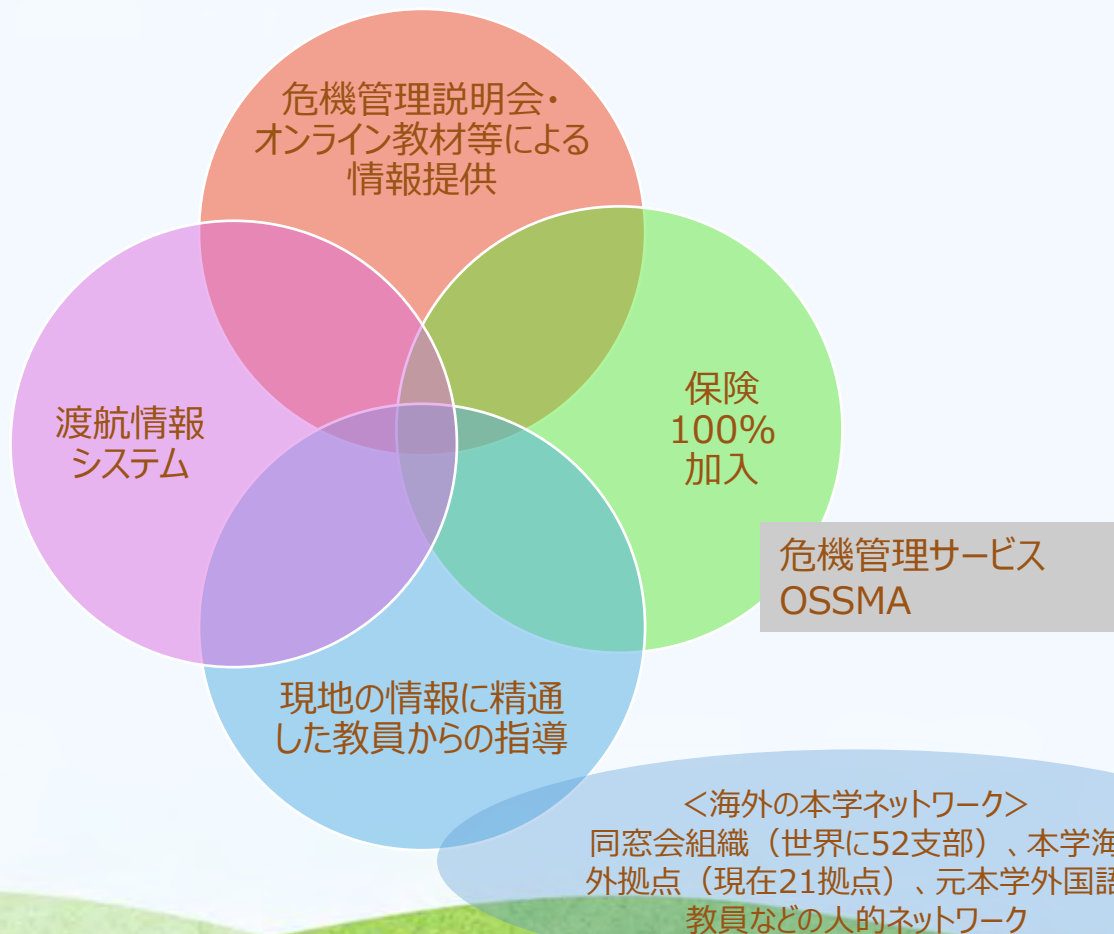
- スタディツアー
 - ニューヨーク国連スタディツアー
 - ウズベキスタン スタディツアー
 - マレーシア スタディツアー（マレーシア語専攻対象）
 - 移民言語学を学ぶ スタディツアー（アメリカ、イギリス等）
- インターンシップ
 - TOYOTA マレーシア
 - 国際開発救援財団FIDR（カンボジア）
 - 経済協力開発機構（OECD）（大学院生対象）
 - 国際移住機関（IOM）
 - 国際連合食糧農業機関（FAO）



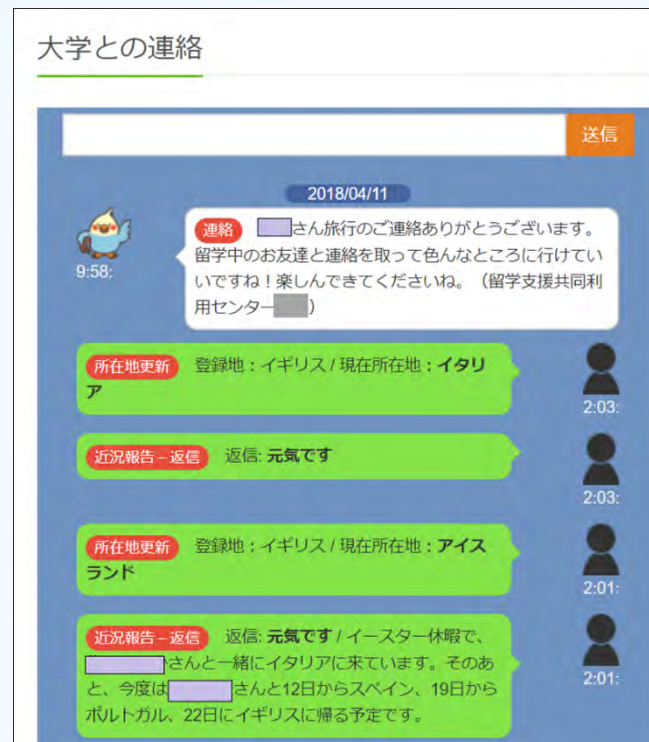


留学って危険じゃないの？

海外で学ぶ学生へのサポート体制（危機管理対策）



渡航情報管理システム「ただいま海外留学中」



<基本方針>

外務省が発出する危険情報・感染症危険情報において「レベル2」以上の地域への渡航は、原則禁止しています。

【参照】外務省「海外安全ホームページ」



留学するにはお金がどのくらい必要なの？

留学先の授業料や滞在費によりますが、目安として…

- 短期留学（3～5週間）の場合（総額）
英語圏：約70～150万円、アジア：約40～70万円、ヨーロッパ：約50～100万円
- 長期留学（10か月程度）の場合

	英語圏	アジア	ヨーロッパ
交換留学	約250～400万円	約120～250万円	約150～300万円
休学留学	約400～700万円	約150～350万円	約200～400万円

費用項目：ビザ、渡航費、住居費、生活費（食事、日用品、衣類、通信等）、学費、保険、その他（レジャー等）

※交換（派遣）留学：授業料は本学に払う ⇔ 休学留学：授業料は留学先大学に払う

※世界情勢や為替レートにより金額が異なる。最近では航空賃高騰、円安（＝留学費用増大）の傾向あり



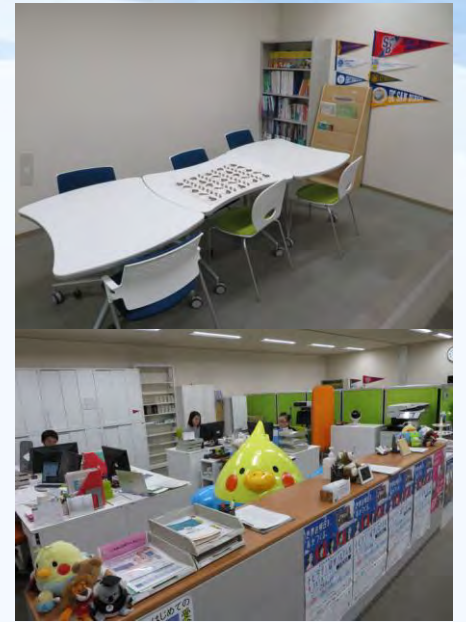
留学のための奨学金はありますか？（給付型）

- 日本学生支援機構（JASSO）の海外留学支援制度
（渡航先により、月額6～10万円を支給。）
- 官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN新・日本代表プログラム～
（渡航先により、月額12万円、16万円を支給。所得制限を超える場合、6万円）
- 民間財団、地方自治体、各国政府による奨学金など多数
- 奨学金に関する情報（本学ウェブサイト）
http://www.tufs.ac.jp/student/tuition_scholarship/scholarship/nihongakusei.html
- JASSOの『海外留学支援サイト』
<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>
- 交換留学の場合、75%の学生が何らかの奨学金を受給。（2023年度）
（休学しての留学の場合は、奨学金受給率は、1割程度）



留学の相談はできますか？

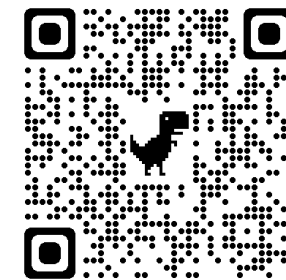
- 留学支援共同利用センターでの留学相談（予約制）
 - 留学支援相談員が親身になって、丁寧に対応します！
 - 初歩的な質問から、応募申請に関することまで幅広く対応します！
 - ただし、留学エージェントではないので、情報を調べたり、申請作業などは学生自身で！
- 留学フェア（毎年10月に実施）





留学体験報告も要チェック！

- 留学体験報告書（本学HP上）
<http://www.tufs.ac.jp/student/studyabroad/taiken.html>



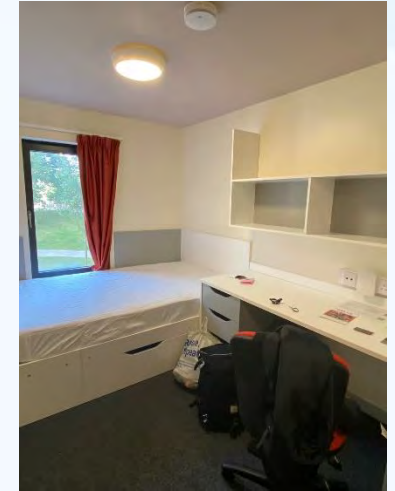
- 東京外国語大学国際社会学部アフリカ地域専攻のサイト
<https://sites.google.com/view/tufsafrica/留学体験記>





留学中の滞在先は？

- ① 学生寮
- ② ホームステイ
- ③ 民間の物件（ルームシェアなど）



- ・滞在先の手配は、基本的に学生自身で！（留学先大学などから情報収集）
- ・留学先（協定校）により、選択肢が異なる
- ・長期留学の場合、初めの数ヶ月をホームステイまたは学生寮、途中から民間のアパートを借りる、ということも可能
- ・滞在先手配に苦勞する時は、留学経験者のアドバイスも有効！



卒業までのスケジュールは？



Q&Aセッション

- 質問のある方は、挙手をお願いします！

